

うれしい変化

私個人のことですが、4月から咳が出ているような日を除いて**マスクをすることをやめました**。息を吸ったり吐いたりするときの苦しきや、メガネが曇るわずらわしさがなくなり、快適な毎日です。でも、マスクをしない生活を始めたら、それよりも**もっとうれしい変化があった**のです。それは…

「**子どもたちが声をかけてくれるようになった**」という変化です。

校内で会った時に話しかけてくれたり、遠くから「こうちょうせんせ～」と手を振ったりしてくれたりする子が増えました。さらに、この頃は冗談を言ったり、からかったりするような**やわらかい関わり方**をしてくる子も出てきました。「滑り台まで一緒に走ろう」とか、「サッカーのキーパーをやって」とかいうリクエストも増えています。昨日は放課後のサッカーまでご招待を受けて参加してしまいました。

今まではマスクの下の表情が読めずに、声をかけにくかったのかもしれませんが。これから、もっともっとたくさんの子と関わっていきたいと思います。

先生たちも変化が出てきています。例えばA先生は「今年度は**地域に出てダイナミックな活動をしたい**」とおっしゃっています。地域内の道祖神を調べたり、地域の方に武田信玄が室賀峠を越えて村上に入っていた話を伺ったりしたいとのことです。Chromebookを持って子どもたちが地域をめぐり、それぞれに調べ学習を進めるなんてこの3年余はなかなかできませんでした。こうしたこともうれしい変化です。

話は少し変わりますが、**運動会で4年生がソーラ**
ン節を踊ります。学年担当の先生から「地域で法被を貸していただくことはできないだろうか」という相談がありました。学校運営協議会の会合で教えていただいた、法被をお持ちになっている可能性があるいくつかの自治会の会長さんにお電話をし、貸していただくお願いをしました。すると公民館役員さんに聞いてくださったり、氏子総代さんに掛け合ってくださいたり、保管していらっしゃる可能性がある方を個人的に調べてくださったりし、**5つの自治会から150枚**程の法被を届けていただくことができました。これは4学年児童数の3倍以上の枚数です。「**地域の方とのつながりが、コロナ禍前に近い形に変わりつつある(戻りつつある)**」と言うことだと思えます。



「**なんかあったらまた言っておくれや。みんな、喜んでやるに**」

ある自治会長の一言が、心に深く染み入りました。